

リズムカルに♪
動いて！食べて！

家庭とともに育む保育

～「楽しさ」がこどもの
可能性をどんどん伸ばす
Well-Beingをめざす力～

くるみ保育園



乳幼児のパパ、ママからのこのような声から

- ・ 平日は両親ともに仕事で子どもと接する時間が短く心配です。
- ・ 食べムラも多く、気に入った食べ物はずっと食べ続けあまり好みではない食べ物はなかなか進みません。
- ・ 風邪をひきやすく、家での関わりや睡眠時間、食べ物など気を付ける事は何でしょうか？

親子の触れ合いが解決のきっかけに！

- ・ 初めての子育ては、子どもとどのように触れ合うか、遊び方も不安なママとパパ。肩の力を抜いて、一緒に美味しいご飯を食べ、楽しみましょう。たとえば……

歌やダンスで身体を動かすと食欲が出て美味しくご飯を食べます。体を動かすと夜もぐっすり眠れるようになります。体も丈夫になります。一番大事なのは、ママとパパも楽しんで笑顔でいることで、子どもたちも楽しい、嬉しい気持ちになります。

3歳までに大切なことは……！

- 「0歳から3歳までが大切な時期と、理解はしているけど何をしたらいいんだろう？」
- 子どもの可能性を広げていくにはどうするといいいのか？
- 意欲のある子に育てたいけど、今している事でいいのか？



このように、3歳までが大切な時期と理解しているものの、何をしたらいいか悩んでいるママやパパの声をよく耳にします。

それもそのはず、今していることが正しい事なのかどうか、すぐには結果がでないからです。悩んだり迷ったりする子育てですが、

大切なのは

ママやパパが子育てを楽しむ事と、子どもがいろいろな経験をする事

子育てを楽しむには安定した心（Well-Being）

子どもが色々な経験するには環境をつくってあげる事（家族、友だちや先生との関わり、音楽、自然、行事経験等）



くるみ保育園で行っている
「楽しさ」がこどもの可能性をどんどん伸ばす活動を紹介します

動いて！

ダンスとリトミックからつながる

ダンスやリトミックを通して、音楽やピアノの音に合わせて体を動かします。

先生や友だちの動きを目で見て、真似をすることを模倣といいます。模倣は子どもたちの発達にとって、何かを学習するうえで大変重要です。

言語発達の基礎ともなり、探索行動のスキル向上にもつながります。



ごろーんと転がったり、
ジャンプしたり、
ともだちと一緒に
体を思いっきり使って動
き回ってたのしい！
きもちいいね♪



世界へ羽ばたく無限の可能性

福島から世界へ

世界を舞台に活躍する福島のダンサー

- ・ダンススタジオ「ViVid」のRUUさんのお母さんの言葉が心に残っています。

「好きな事を習っているのは当たり前じゃないし、1人じゃできない。
ご両親や周りの人に感謝して欲しい。
いつも**ありがとう**の気持ちを大切に……………」

- ・昨年、計画して実現できなかった「vivid」さんのダンス体験会を今年は工夫して行います！

ダンスの楽しさ、一生懸命取り組んでいる姿に触れたいと思います！

0～3歳は下の図からも分かるようにその後の様々に分かれていく感情の基礎となるものが発達し始める時期です。

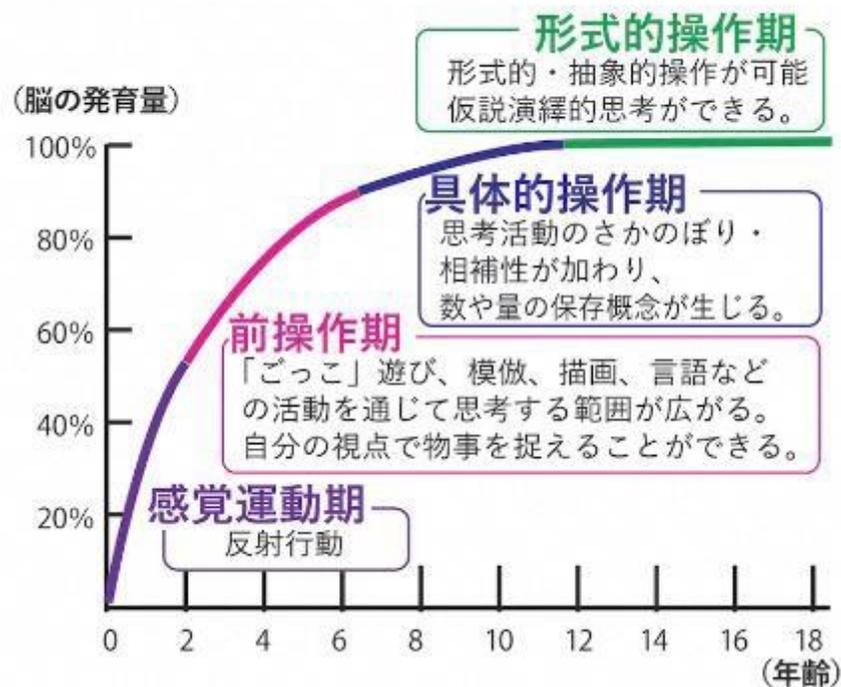
そのため、身体の変化だけでなく心の変化にも敏感である必要があります。

左の図は「**ピアジェの知能発達理論**」思考の発達には段階があり、ダンスやリズムを取り入れた模倣は前操作期にあたり、0歳から3歳の時期は基盤づくりと著しい成長の真ただ中にあります。

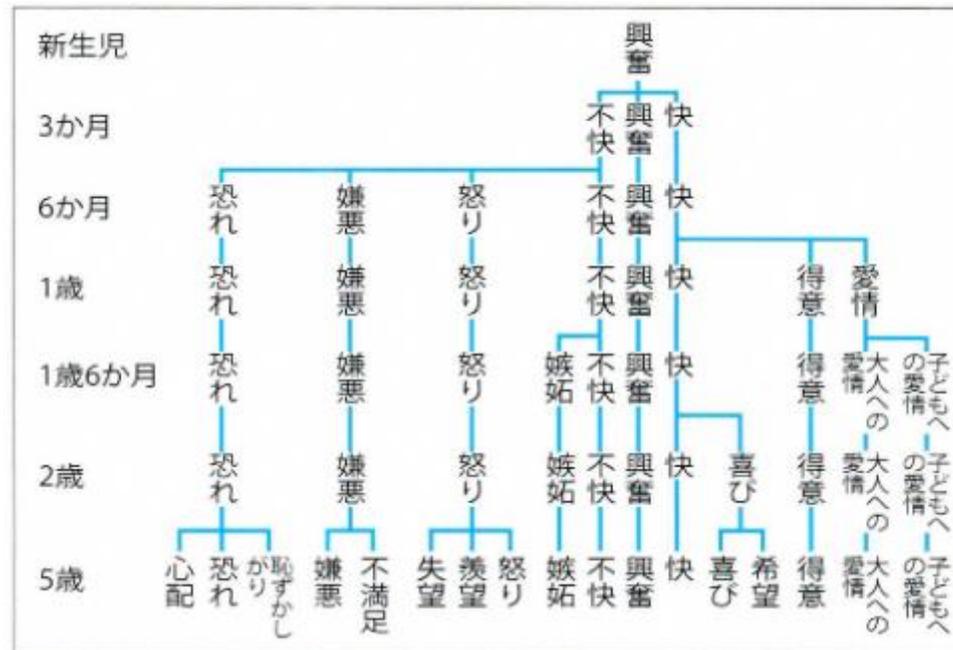
右の図は心の発達を図に表した「**ブリッジズによる情動の発達図**」

ブリッジズは情動の種類は出生直後の興奮から、神経系の発達とともに急速に分化されることを示し、その時期の環境の重要性をくるみ保育園では大切にしていきたいと考えています。

知の発達段階（ピアジェ知能発達理論）



子供たちのこころの成長発達表



情動の発達（ブリッジズ）

新谷誠康 編：小児歯科学ベーシックテキスト第2版，
第2版，永松書店

食べて！

体をつくる 給食が楽しい！

子どもたちの健康状態を良好に保つために
栄養のバランスを考え、視覚的にも美味し
そうでご飯の時間が楽しみになるような給
食作りを心がけています。くるみ保育園の
給食をいくつかご紹介します。



くるみ保育園での給食

オニさんそばろご飯



雪だるまプレート



くるみ保育園での給食

ハートご飯のカレーライス



旗付きご飯のミニプレート



くるみ保育園では福島産の食材に こだわっています！

- ・月に2回福島産で安全安心な食材を給食に取り入れています！
- ・おやつを保護者の皆さんに試食！

保護者の皆さんの声

- ・とても美味しかった、レシピを教えてください。
(ご要望にお応えします。)

今年は……さらに……園の裏庭でトマトやピーマンなどを作っています！



「楽しい！」をICTでつないでいます！

毎日の様子をスライドショーに

令和2年度ICT保育事業推進事業でiPod（アイポッド）を導入しました。手のひらサイズで、保育士さんが日常の様子を簡単に撮影することができます。



保育園で過ごした様子をiPodで撮影し、玄関のテレビにBluetoothで送信します。送られた写真は毎日スライドショーに編集され、玄関のテレビに映し出されます。

お迎えの時に、その日の保育園での様子を映像として見ることができます。

0才～2才の乳幼児は言葉で保育園での出来事を伝える事は難しいですが、保護者の方は連絡帳の他に映像でも園での様子が分かり安心します。



お迎えが楽しみになってます！

私が仕事をしている間に、楽しく園で過ごしていた様子がとても分かりやすいし、伝わってきます。

仕事の疲れも、吹っ飛びます！



今日は完食したんですよ！
と伝えてもどんな様子で食べていたのか分かりません。
映像だとお友達と一緒に楽しそうに食べている姿を見ることができ、保護者のみなさんもニッコリ！



こんなにもりもりと！！
給食を自分で！
食べているんですね！

おいしい！！

お子さまランチ
のはただよ！



Well-Beingとは

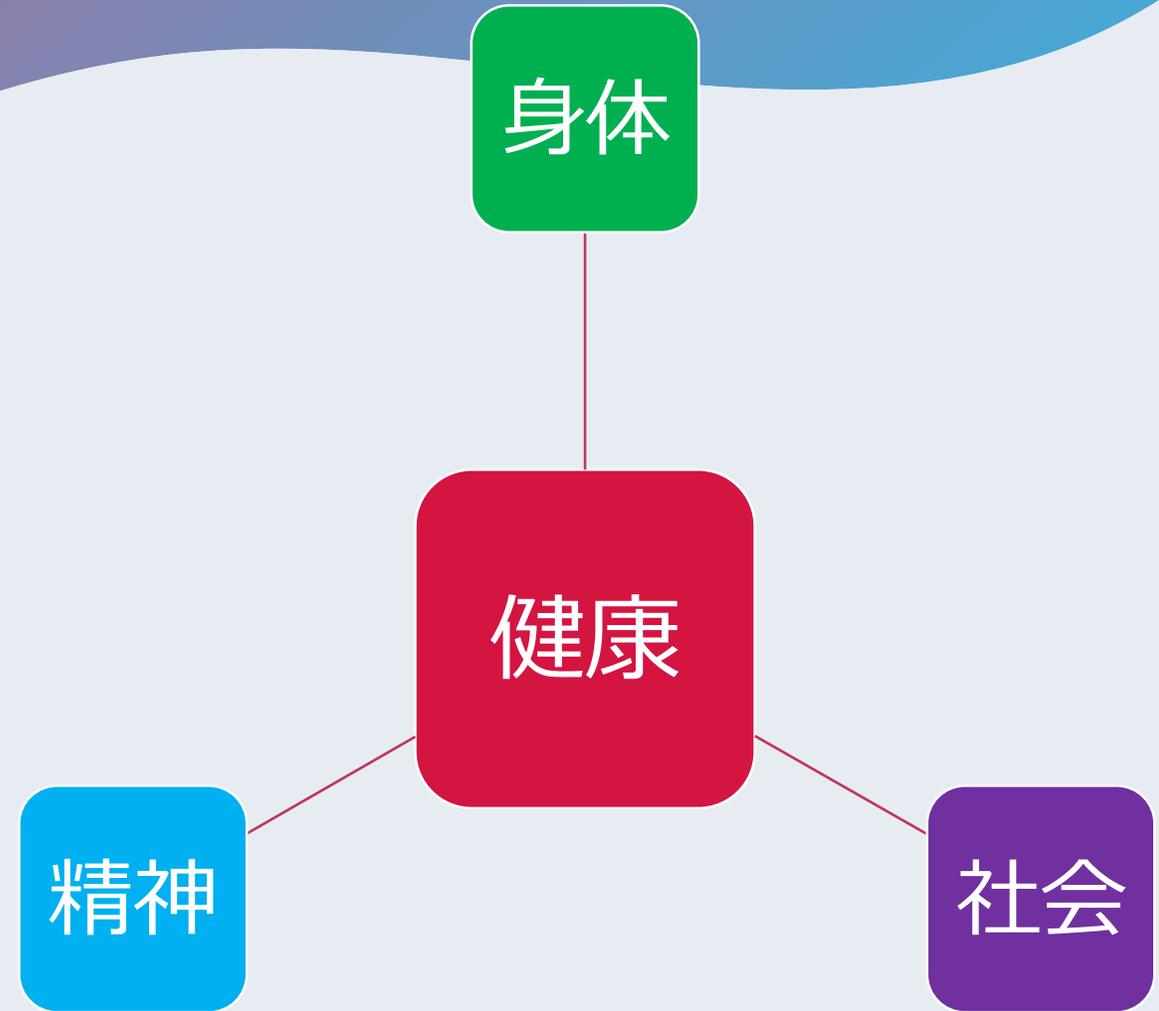


WHOの示す『健康』の定義

WHOの憲章では、以下のように定義しています。

「健康とは、身体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」

“Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.”



くるみ保育園が大切にしているWell-Beingとは

子どもたちは大人の思うように動いてくれません。大変だなと思うのはやらせようと思うから！ますます反発したり、違う方向へといって、疲れてしまいます。そこで、たまには肩の力を抜いてゆっくりやってみましょう。大人の私たちが楽しくしていると、「楽しそうだな、やってみようかな」となることも……。今できなくても、お子さんを信じてゆっくりいきましょう。

笑顔の大人の中で、子どもたちは笑顔になり、愛されることで、愛することを学びます。大切なお子さまがかけがえのない時間を過ごす保育園で、私たちは笑顔で子どもたちを愛し、健やかな成長を見守り、日々の保育を大切にしています。



『楽しい』とは？

ママ、パパが
笑顔で

先生が笑
顔で

周りの雰囲気
気が明るく

『楽しい』

友だちと遊
ぶ

美味しい物
を食べると

からだを動
かして



楽しい気持ちは伝わります。

くるみ保育園では、先生（保育士）が楽しく生活することが大事だと考えています。笑顔で子どもたちに接すると、笑顔で返してくれる子どもたち。まず先生自身が楽しんで生活しています！

特色ある幼児教育・保育プロジェクトに参加して！

「働きたい！」
楽しさが伝わって、保育士さん、調理師さんの応募が増えています。
「Well-Being」を実践したいです。「笑顔が楽しそうです。」etc.



未来を創造する力

保育園に来ることで、たくさんのお友達や先生との出会いがあり、行事などを通して季節の移り変わりを感じながら、お家ではできない多くのことを体験します。そのような経験がこれからの未来を想像する力になると思い、くるみ保育園では多くの行事や季節を取り入れています。



未来を創造する力

Well-Being

